

環境的に持続可能な交通（E S T）モデル事業実施に関する調査 平成 1 7 年度事業評価
- 千葉県柏市・流山市地域 -

PLAN 【事業計画】

テーマ：『つくばエクスプレス開業に伴う総合的な公共交通機関の利用促進』

現在、つくばエクスプレス沿線駅周辺地区においてのまちづくりテーマは、「環境と健康」として進めており、自家用車利用から公共交通機関等への利用転換や自転車を活用したまちづくりにより環境負荷の軽減を図るものとする。

また、つくばエクスプレスの各駅には、ユニバーサルデザインを取り入れており、この取り組みについてもバス等の利用促進対策と連携して行うことにより、自家用車からの利用転換を図るものとする。

さらには、この取り組みを柏市、流山市全域で行うことを目指し、環境負荷軽減に取り組む都市として「国土交通省環境行動計画」の先導的な役割をすることにより、環境的に持続可能な交通を全国的に普及させることを主眼とする。

【達成目標】

1 年目
柏市、流山市内の駅利用者 1 % 増加

2 年目
・柏市、流山市内のバス利用者 1 % 増加
・自転車駐輪場の契約台数 1 % 増加
・CNG 車導入 5 % 増加

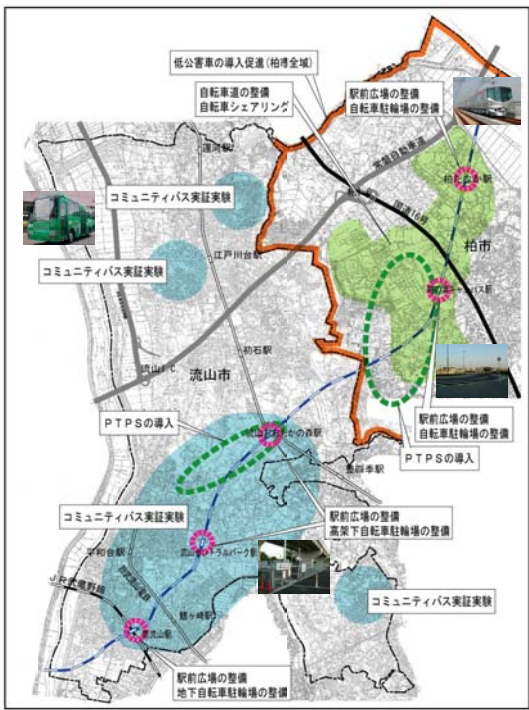
3 年目
・柏市、流山市内のバス利用者 1 % 増加
・自転車駐輪場の契約台数 1 % 増加
・CNG 車導入 5 % 増加

【主な施策】

- バス路線網再編
- コミュニティバス導入
- 低公害車の導入
- P T P S ・ボトルネック交差点改良
- 駅前広場整備
- 自転車駐輪場整備
- ノンステップバスの導入

Do 【平成 1 7 年度実施施策】

- ・ バス路線の再編
- ・ 低公害車の導入
- ・ P T P S（J R 柏駅～柏の葉公園）
- ・ コミュニティバス実証実験（流山市）
- ・ コミュニティバス導入可能性調査（柏市）
- ・ 駅前広場整備（つくばエクスプレス各駅）
- ・ 自転車駐輪場整備（つくばエクスプレス各駅）
- ・ ノンステップバスの導入



CHECK 【1 年目の目標達成度の検証と次年度以降の見直しの方向性】

【つくばエクスプレス利用者アンケート調査結果】

- 利用実態：平日は東京都心への通勤利用、休日は私事目的で月 1 ～ 2 回程度の利用が多い。
- 開業による交通行動の変化：代表交通手段を変更した人は平日 8 %、休日 1 5 % と少ないが、端末手段をバスから徒歩や自転車に転換した人が特に柏市で多い。
- 鉄道を利用するための端末手段の条件：「バス路線の本数増加」が最も多い。
- バスを利用するための条件：「早朝、夜間までの運行拡大」のほか、流山市内では「自宅近くにバス停があること」、柏市内では「バスの遅延を防止」が多い。

【1 年目の目標と達成度】

目標：柏市・流山市内の駅利用者数 1 % 増加

年間での駅利用者 1 . 7 % 増加

目標達成

【1 年目の二酸化炭素排出量】

平成 16 年度対象地域排出量（運輸部門）	836,083t-CO2 / 年
つくばエクスプレス利用者による排出削減量	2,949t-CO2 / 年
二酸化炭素排出量削減率	0 . 4 % の削減

【次年度以降に向けた検討の視点・課題】

- 現在、二酸化炭素排出の主因となっている「自動車」による排出量削減が重要な課題
- ・ 駅端末交通手段における公共交通機関等への転換による排出量削減が求められている
- ・ 柏市内 2 駅を中心として自動車の短距離利用がみられる
- ・ 自動車利用者がバスを利用するための条件として、「路線開設」に関する要望が多い
- 公共交通利用促進に向けては、「運行時間帯の拡大」、「遅延対策」等が求められている
- ・ 端末交通手段としてバスを利用できない駅利用者が各駅 3 ～ 16 % おり、手段確保が課題
- ・ 柏市内各駅利用者からバスの遅延防止を求める意見が多い

【対応方向性（案）】

重点課題：
自動車利用者の転換促進

バス運行時間帯の拡大

バス走行環境の改善
・ 交差点改良をはじめとした走行環境整備

自転車走行・駐輪環境整備

転換促進へ向けた広報
・ 情報提供と周知の徹底

ACTION 【事業計画の見直し（案）】

■：事業対象 ○：計画検討中、実施予定 ●：実施済 ◐：一部実施済

施策名	計画地		事業計画実施時期			備考
	柏市	流山市	H17	H18	H19	
各駅駅前広場整備事業	■	■		○	○	

【バス関連施策】						
バス路線網の再編	■	■	●			
コミュニティバス実証実験		■	●	○	○	
コミュニティバス導入検討調査	■			○		
コミュニティバス実証実験	■				○	
バス路線網の見直しに向けた調査・再再編の検討	■	■		○	○	
バス運行時間帯の拡大に向けた調査及び実施	■	■		○	○	
PTPS導入（JR柏駅～柏の葉公園）	■		●			
バス定時性確保について、ボトルネック交差点を含む交通体系の調査検討	■	■		○		
PTPS導入（他の地域への展開）	■	■			○	沿線地域整備の進捗による
ボトルネック交差点の改良	■	■			○	調査検討結果に基づく柏、流山市内の有効箇所
バスロケーションシステムの検討（設置有効路線、手法の検討）	■			○	○	
ノンステップバスの導入	■			○	○	
端末交通手段における自動車から公共交通等への転換促進へ向けた広報	■	■		○	○	

【自転車関係】						
自転車駐輪場整備	■	■	●			
自転車走行に配慮した道路の整備	■			○	○	
自転車シェアリング	■			○	○	

【その他】						
低公害車の導入	■			○	○	

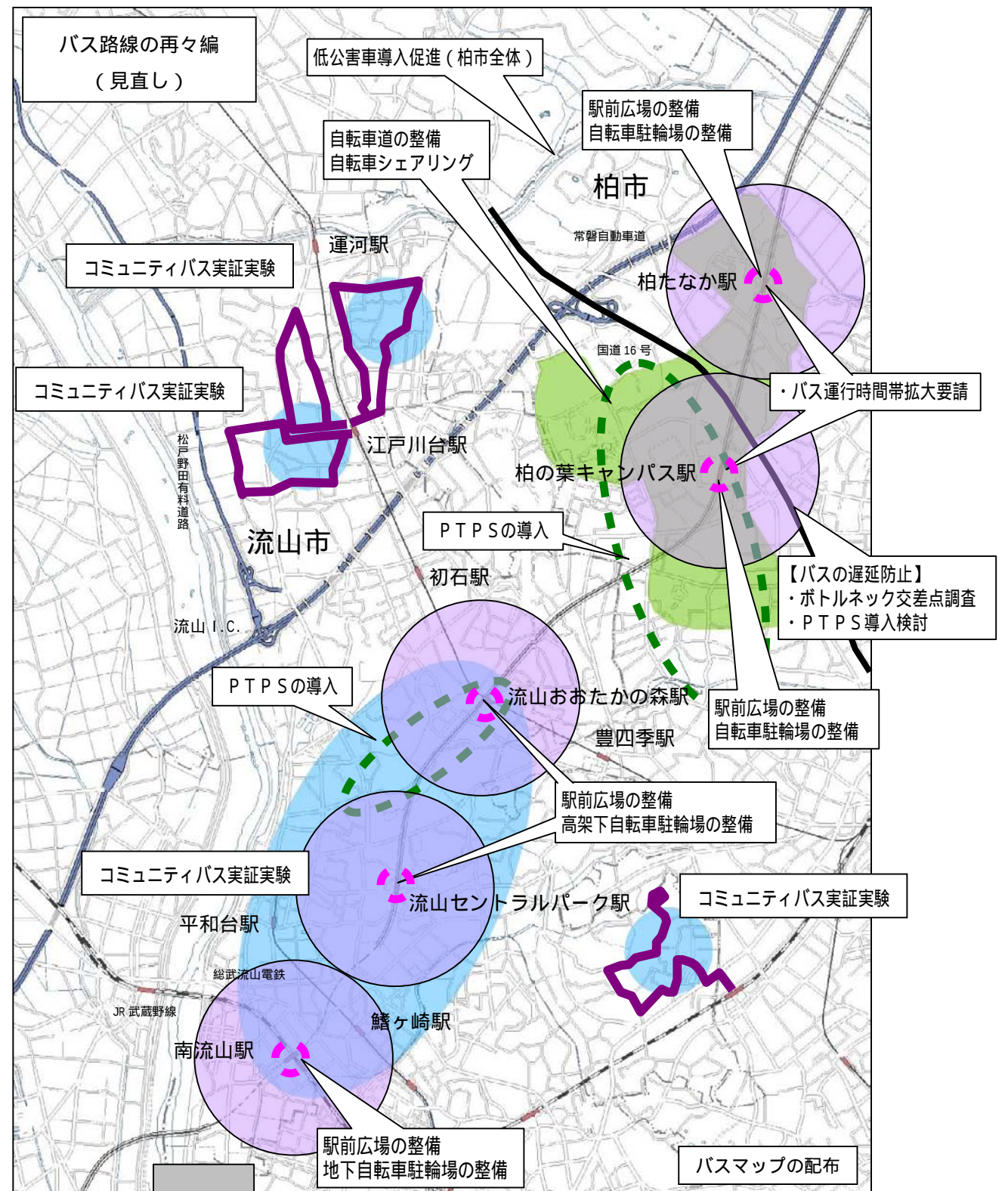
	事業計画にある施策
	そのうち、平成17年度までに実施済みの施策
	そのうち、平成18年度以降も継続して実施予定の施策
	そのうち、具体的な改善案について計画検討を進める施策
	新たに追加検討する施策

凡 例

【今後の課題】

- 今後の「まちびらき」、対象地区における人口増への対応
 - 自動車に依存しない地域となるよう、公共交通等利用促進の環境整備が課題
- 端末交通手段の「自動車」を公共交通機関へ転換させる方策の実施
 - 再編されたバス路線の見直しと、道路整備の進捗にあわせたバス走行環境の改善
- 今後出店予定の大型ショッピングセンターへの対応
 - 休日を中心とした自動車集中の問題に対し、公共交通利用促進について商業施設も含めて展開することが重要
- 対象地域全体での自動車による二酸化炭素排出量削減へ向けた取り組み
 - 公共交通機関への転換促進に限らず、自動車旅行速度向上による二酸化炭素排出量削減を目指すためにも、交差点改良などの道路整備とあわせた展開が必要

【平成 18 年度事業計画の全体】



< 目標 >

- ・柏市、流山市内バス利用者数 1 % 増加
- ・自転車駐輪場契約台数 1 % 増加
- ・CNG車導入 5 % 増加

凡 例

- コミュニティバス運行路線
- 端末交通手段を自動車からバス等へ転換するための広報の実施（転換重点地区）